

過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報と研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 胃癌および食道胃接合部腺癌における CLDN18.2 発現の腫瘍内不均一性に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 小松 嘉人 北海道大学病院 腫瘍センター 診療教授

[研究の目的] 切除不能進行胃癌および食道胃接合部癌の診断法と治療法の向上に役立てるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院において、2009年1月1日から2024年5月31日の間に胃癌あるいは食道胃接合部癌に対して外科的切除あるいは腫瘍生検を実施された方のうち、手術残余検体ないしは腫瘍生検による組織残余検体（パラフィン包埋病理組織標本：FFPE）が保存されている方を対象とします。

○利用する検体・カルテ情報

・検体：内視鏡生検残余 FFPE 検体、手術残余 FFPE 検体
CLDN18.2 などのタンパク質を測定します。

なお、研究用の試料の保管について同意が得られている方の検体を使用します。

・カルテ情報：2027年3月31日までの情報を収集します。

年齢、性別、身長、体重、診断名、ECOG PS（全身状態）、臨床病期、治療歴、胃癌あるいは食道胃接合部癌の組織型、予後情報、血液検査結果（白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数、総ビリルビン、アルブミン、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、LDH、クレアチニン、CRP、FBS、HbA1c、CRP、CEA、CA19-9）

[研究実施期間]

実施許可日（検体・情報の利用開始：2025年4月頃）～2028年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体・情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特

2025年1月21日（第1.1版）

定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 消化器内科 担当医師 横山 達也

電話:011-716-1161(内線 5920) FAX:011-706-7867